

子供たちは夏休みに入りましたね。今週は、夏に気をつけたいペットの健康管理についてです。

この時期、最も注意すべきは熱中症です。熱中症は7月に最も多く、8月も同程度の発症です。散歩の時間帯や留守番の際は注意が必要です。熱帯夜では、夜でも熱中症になることがありますので、早朝の散歩をお勧めします。

最新のエアコンは人感センサー付きがありますが、ペットは感知しないこともありますので、留守番の際にはセンサーをオフにし、通常の冷房運転にしましょう。

車での移動も十分ペットに配慮した計画を立ててくださ

夏に気をつけたいペットの健康管理

あ
ん
し
ん
ペ
ツ
ド
ラ
イ
フ

⑮

い。

犬の場合、家族でキャンプやバーベキューに出掛ける機会も増えると思います。その際の注意点は一。

①【外出前にノミやダニの予防を忘れずに】草むらに潜んでいることがあります。

②【野外での誤飲に注意】バーベキューの串やタマネギなどを周囲の人が食べさせてしまうことがあります。竹串は誤飲の中で多いものの一つですが、長さがあるため、飲み込まないと油断しがちです。食べた後の串も、においがついていて犬には魅力的で

誤飲してしまいます。

家にいる場合も、お盆などで大勢が集まると来客がストレスとなり、体調を崩すことがあります。普段子供がいないご家庭にお孫さんたちが集まった場合などは、①子供たちがペットを構い過ぎない②ペットがリラックスできるようなクレートやキャリーなどを別の部屋に用意する一なども有効でしょう。

ペットの性格や体調に合わせ、家族みんなで楽しい夏休みをお過ごしください。

(アニコム損保 獣医師 井上舞)